

はなえくぼ扶桑便り No.55

令和6年10月1日 発行
(株) ニーノコーポレーション
扶桑町大字斉藤字緑223
(0587) 93-7833

『花火』

8月19日、夏の楽しいイベントのひとつ“花火”を行いました。台風や雨が続けていたので、みなさんで男の子と女の子のBIGてるてる坊主を作り吊るしました。

みなさんの願いと、てるてる坊主のパワーが届き、くもり空でしたが楽しく花火を行うことができました。



『夏祭り』

8月24日、はなえくぼ扶桑で夏祭りを行いました。利用者さんも職員もはっぴや浴衣を着て、昼食の乾杯から夏祭りは始まります。お寿司にたこ焼き、唐揚げや枝豆をつまみながら、ノンアルコールビールやコーラなど、思い思いのドリンクを酌み交わし、普段とは違う雰囲気を味わっていただきました。

昼食の後はお楽しみ企画です。お菓子釣り、輪投げ、糸引き飴を行ないました。お菓子釣りは、手作りの魚を手作りの竿で釣り上げ、魚に書いてある番号のお菓子袋をゲットするというゲームです。お菓子は当日おやつに食べる予定でしたが、お腹がいっぱいで後日のおやつになりました。

輪投げでは、輪の入ったところの番号がそのまま点数になるので、みんな高得点を狙って必死で投げました。ゲームの途中、糸引き飴で運試し。糸の先に大きさも味もいろいろな飴がついているので、ドキドキしながら糸を引っぺがります。当たった飴を口から糸を垂らしながら舐め、その姿を見せあって大笑い。おやつにはかき氷を2種類のシロップから選んで食べていただき、みなさんで童心に帰り楽しみました。



この夏のはなえくぼ扶桑のMVPは、なんて言ってもこのBIGてるてる坊主！豪雨からも悪霊からも？守ってくれました。

使わなくなったタオルがありましたらご寄付をお願いいたします。たくさん消費します。よろしくお願いいたします。

『敬老会』

9月16日、敬老会を行いました。お昼に、お赤飯、天ぷら、茶碗蒸し・・・。定番のお祝い御膳でみなさんのご長寿をお祝いしました。

昼食後の出し物は『ワニワニパニック』と『箱の中身はなんだろう』を全員で楽しみました。お手製の超アナログなワニワニパニックでは、利用者さんも職員も出てくるワニを本気で叩いて大盛り上がり。どんどんパーツがとれていくワニたちの姿が、みんなの必死さを物語っていました。箱の中身はなんだろうでは、中身の見えない箱の中に入っているものを触って、触感と直前に見た「もの」の記憶を頼りに当てていきます。たわしなど馴染みのあるものは、みなさんすぐに当てることができました。

ワクワクドキドキ賑やかな一日を過ごしました。



『気持ちに寄り添う対応を』

認知症の人が体調が悪い、ご飯を食べていないなど不快感を訴えられるとき、まずはその事象について確認をします。睡眠、食事量、水分量、排泄状況、バイタルサイン、目で見えることについて確認をし、必要であれば受診し、治療を要する病気や体調の異変がないのに、それでも訴えが続く場合には、言葉で表される不快感が、本当は何を伝えたくて発せられたものなのかを探って行きます。

認知症の人だから、いつもそんなことを言っているから・・・と聞き流さず、真剣に表現された事象に向き合います。周りの人たちが、その方の痛みや苦しみに真剣に向き合うことで、痛みや苦しみが軽くなってくれることもありますし、本当に病気が見つかることもあります。

それでも不快感が消えないのなら、その不快感のもとを探します。その方の望む暮らしと現状とのギャップに目を向けてみます。さらに、音、光、温度、風、視界に入る景色、皮膚にあたる感触。考えることはたくさんあります。複数の要因が絡み合っていることもあります。想像力を膨らませてみましょう。その方をよく観察しましょう。表情や行動から答えを教えてくれていることがあります。それに気づけたとき、認知症の方に寄り添うことがちょっと楽になるかもしれません。

次回は、はなえくぼひくみ便りです。どうぞお楽しみに！



グループホームはなえくぼ扶桑
丹羽郡扶桑町大字柏森字辻田398

(0587) 91-0110

グループホームはなえくぼひくみ

犬山市大字五郎丸字郷瀬川17番地1

(0568) 68-8096

グループホームはなえくぼ江南
江南市小机町長者毛西132番地

(0587) 52-3808

はなえくぼのホームページ

www.gh-hanaekubo.com

ブログも時々更新しています